

# 支部だより

## 北九州支部雑感



北九州支部支部長  
森山 鉄之助  
(昭和29年卒)

今後益々の母校の発展を期待いたします。

我が母校は、平成六年に福岡県立田川東高等学校から福岡県立東鷹高等学校と校名が変わり、場所も慣れ親しんだ番田の地から白鳥工業団地に移転し、当初は卒業生として、戸惑いとも一抹の寂しさを感じました。しかし、私どもが通学する頃は部活動も満足にできない狭隘な校地（特にグラウンド）で、不便を困っていたことからすれば、部活動に十分な広大な敷地を持ち、学習面でも画期的な近代的施設・設備の整った新校舎に生まれ変わったことをよしとしなければならぬと思えました。昨秋には、全日制県営移管八十周年・定時制本校移管五十周年の祝賀を迎え、母校は着実に発展しているものと信じています。卒業生として、

さて、北九州支部は、昭和六十二年に坂井友浩さん（初代会長、S二十八卒）、田中二郎さん（副会長、S二十八年卒）の呼びかけにより、北九州市近郊に在住する者が参集し、発足いたしました。その後、平成二年に第二回総会を行いました。その頃から本部の要請が強まり、支部会則を制定し、役員組織を整え、平成八年の第三回総会から東鷹同窓会北九州支部として活動をはじめました。以後三年ごとに支部総会を開催、平成十八年一月の総会で六回を数えます。当初は（今でも？）女学校卒業の方々がまだまだお元気で、本場に多くの女学校生（？）がお集まりになり、新制高校卒の我々は圧倒されました。校歌斉唱一つとっても私たちは現在の校歌を歌うわけですが、その直後に女学校卒の方々が前に集まり、声高らかに女学校の校歌を斉唱し、そのパワーに圧倒されたことを思い出します。今でも女学校卒の方々にはトラウマの如く絶大なる敬意を表しています。

現在、北九州支部としてご案内を差  
し上げているエリアは北九州市、鞍手郡、遠賀郡、中間市、京都郡、行橋市、築上郡、豊前市、大分県中津市と田川郡の一部で、会員数は一二〇〇名に及びます。本部から、支部エリアの拡大、本部総会の谷間での隔年開催の要請がきていますが、北九州支部としての力量もありますので今後の支部役員会で検討したいと考えています。本部の要請は要請として、北九州支部としての無理のない形を取りたいと思います。

第七回支部総会は、現支部会則に従い、平成二十一年二月第三日曜日、ホテルクラウンパレス小倉（旧東京第一ホテル小倉）にて開催を予定しています。まだ、1年少々ありますが、その時期が来ると事務局は案内状発送、開催準備等で奔走することになります。事務局並びに役員会としては、創意工夫をして、参加して良かったと思っただけの内容にしたいと考えています。その節がきましたら、エリアに関係なく、できるだけ多くの方々に参加していただくようお願いいたします。そして、北九州支部を盛り立ててください。

